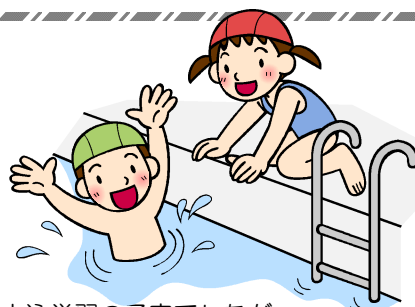




夏至（げし）

今日は、夏至です。今日は朝から雨でしたが…一年のうちで一番昼の時間が長いとされています。「この日を境に本格的な夏になりますよ。」という日です。東京では、夏至と冬至で日の出時間が2時間20分、日の入り時間が2時間30分程度違うということです。夏至のほうが約5時間も日が出ている時間が長いんですね。

【今日は5年生の水泳学習の予定でしたが、残念ながら中止になりました。次回を楽しみに…】



運動会アンケート 協力ありがとうございました。

3 種目内容について	適切であった	48. 2%	(48. 4%)
	少ないと感じた	51. 8%	(51. 6%)
	多いと感じた	0%	(0%)

「適切」、「少ない」がほぼ同数でした。

「いろいろな競技をもっと見たかった!」というご意見、子供たちの活躍する姿や頑張る姿をたくさん見たいというお気持ちはよく分かります。親としては当然です。以前と比べると物足りなさを感じる方が多いでしょう。

今年の競技の練習には、特別日課を組み体育の時間を増やして2週間ほどかかりました。さらに競技を増やすとなると、その分、練習に時間がかかります。子供たちへの負担が増えますし、先生たちへの負担も増えます。



学校では年間の授業時数が決まっています。運動会の練習となると、体育の授業ばかりということになってしまいます。極論を言えば、運動会のために教科の学習の時間を削ることにもなりかねません。そうならないために、短時間で保護者が喜ぶような出来に仕上げなくてはならないとなると、教え込んで訓練して練習することになります。レベルを上げるために、練習期間を短くするために子供たちを追い込んでプレッシャーをかけことにもなりかねません。幼稚園、保育所のようにじっくりと時間をかけて練習できるとよいのですが難しいものです。

運動会の競技に限らず、先生が決めて指示をして訓練すれば短時間で仕上げることもできますが、子供たちの思いを大切に、主体性を育てるためには、考える時間や話し合う時間にたいへんな労力が必要になります。できるだけ子供たちにまかせつつ、効率的に行うようにするにはどうすればよいか、試行錯誤を続けています。

運動会のねらいの一つに、「学習の成果を見ていただく機会とする。」ということがあります。今までの運動会は、保護者や地域の方に見せるために、その期待や要望に応えようとして子供も教職員も無理をしていたというのも事実です。現在、これを見直しているところです。保護者の皆さんには、こういった点もぜひご理解いただきたいと思います。

この他には、保護者のみなさんの参観の際のマナーについてのご意見が多くありました。事前に譲り合って観覧してくださるようお願いしてありましたが、スムーズにいかないことがあったようです。何度も重ねて協力を促す必要があるようです。

競技の時間の調整、学校からのアナウンスの仕方、競技やダンスの位置についての事前の連絡など、学校がさらに配慮すべきことについても指摘いただきました。具体的に提案をしてくださったことを次年度にいかしていきます。今後も、皆さんのご意見を参考にしながら、よりよい運動会（行事）の在り方を考えていきます。ますますご意見をいただけるとありがたいです。

